



さて、子どもたちが楽しみにしていた冬休みがいよいよ始まります。特に、年末年始ということもあり、子どもたちが家族の皆様と一緒に過ごす時間や、様々な人との出会いや外出する機会も増えることでしょう。

それは子どもたちにとって、いろいろな物や人と関わる絶好の機会ではないかと思えます。

日頃の家庭や学校では学べない社会勉強をする大切な時間です。例えば家族の一員として家庭内での与えられた仕事を分担して果たすこと、年末年始のあいさつを交わすことを学び、実践して相手や周囲に感謝の気持ちを表すこと、初詣や初売りなど大勢の人が集う場所での振舞い方などなど、すべてが社会勉強であり、それはまさに子どもたちが大人になるステップであると言えるのではないのでしょうか。

そのためにはまず、私たち大人がその場その時にふさわしい手本を示し教え、子どもたちの身に着くようにしてあげることが必要です。また、周りの人のことを考えて、場にふさわしい振る舞いができるようにすることは、人として互いに尊重し合うことにもつながります。

このように冬休みは子どもたちが人として成長する上で重要な意味を持っています。子どもたちへの指導よろしくお祈りします。

最後になりましたが、二学期の本校の教育活動へのご理解ご支援をいただいたことあらためて厚くお礼申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。和やかで穏やかな年の瀬と、すがすがしい新年をお迎えください。



## 長生会との交流 しめ縄づくり

12月3日、5年生がしめ縄づくりをしました。長生会の皆さんには、前日までに、縄をよったり、裏白やはつきミカン、ゆずりは、神紙しだれなどを準備していただき、また当日には子どもたちにそれらを組み立てていく作業を教えていただきました。



子どもたちは、自分で作ったしめ縄をそれぞれ自慢げに披露しあい、「今年はこの家を飾ろう」と喜んでいました。最後には自分で縄をよることに挑戦しました。

長生会の皆さん本当にありがとうございました。



また、地域の皆さんから学校用にと大きなしめ縄も頂きました。年末には玄関に掲げて、新年を迎えたいと思います。

## 保育園児の学校訪問

6日、来春葛城保育所から新一年生として入学する子どもたちが小学校生活を体験するために本校にやってきました。緊張の面持ちで一年の教室へ向かい算数の授業を受けるお兄さんお姉さんの様子を興味深く参観し、また音楽の授業では一緒に学びあいました。また行動のすべてがチャイムで行うことも学びました。小学校の入学を心待ちにしてほしいと思います。



## おもちつきの応援に来て！

葛城ふれあい広場のもちつき大会を1月12日(土)9時30分から行います。葛城校区に春を告げる地域ぐるみの行事です。

ぜひ、子どもたちと一緒にもちつきを楽しんでください。



## 落語鑑賞会

4日に5・6年生を対象に落語の鑑賞会を開きました。緋毛氈を敷きつめ中央には見台、端には名ピラを置いた本格的な高座の上で、6年生と職員が小噺体験のワークショップに挑戦し上手にやり遂げました。その後、落語を鑑賞し、手振りや身振りなど専門的なことも教えてもらいました。これを機に、日本の芸能、落語に興味をもつ子どもが出てきたらいいかなと思いました。

## 観劇会

11日に全校児童がインドネシアの音楽劇を観賞しました。「ハナ☆ジョズ+コンチョコンチョ」が不思議な音色の楽器や影絵を紹介してくれました。ガムランの音色はやさしくて心に響きました。また、音楽に合わせて踊る人の顔や指先の動きは不思議で思わず引き込まれてしまいました。影絵芝居は無形文化財にも指定されているもので、水牛の革でできた人形を一人で動かしていました。演奏の合間には、インドネシアのことも教えていただきました。少しですが、インドネシアのことがわかった時間でした。

## かつらぎ子どもゆうびんきょく

「はがきを売っていますので、買いに来て下さい。」と、2年生の子どもたちが職員室をはじめ各教室に声かけに回っていました。

恒例の「かつらぎ子どもゆうびんきょく」の取り組みが始まりました。

牛乳キャップの硬貨と交換にはがきを受けとり、友だちや先生に出します。出されたはがきは、かわいい郵便屋さんが新学期に教室や職員室に配達してくれます。今から楽しみです。



やさしい ことば  
やさしい えがお

3学期に向けての葛城小学校のスローガンです。